

## 米作りで問題になっていること



大沼 緑 須藤 円香



## 調べた理由

- 田植えの時に、米作りで問題になっていることが、知りたくなってこの事を調べました。



## 1、生産調整面積の増加

- 米の消費量の減少と、生産技術の向上等によりじゅうようと供給のバランスがくずれたことで米余り現象が発生してきました。そのため農家では、一定の田んぼで米作りを休んで、大豆や野菜を作付けしています。生産調整による転作です。米の消費量は、60年代は国民1人あたり年間約120グラムでしたが、近年は約62グラムくらいに、なっています。



## 2、価格の低下

- 米が余るようになった事で、価格が低下しており、農家の経えいにえいきょうを、あたえるようになってきました。



### 3、農業後継者の高齢化

- 生産調整の増加や米価の低迷等、農業の先がみえない状況も反映し、農家の後継者が育たない事が問題に、なっています。今は農産物は、いつもどこでもてにはいますが、作り手がいなくなれば、深くな問題になっています。



### 4、米の輸入

- 米が余るにもかかわらず、外国からの輸入義務が発生し一定量の輸入が行われるようになっています。国産米にも大きな影響があることが、懸念されます。また現在はWTO農業交渉が上手くいかず、2国間の農業交渉などがこの先どうなるか、不安をかかえています。



## まとめ

米作りで問題になっていることは、この4つでした。

調べてみて米作りで問題になっていることが、よくわかりました。またこんなきかいがあったら、他の事も調べてみたいです。

